



未来の先生展
2017

TeachMeet Tokyo

～イギリス発の教員勉強会「TeachMeet」日本初開催～

プレゼン発表形式

開催日時

2017年 8月 27日(日) 10:00-11:30

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館3F 304教室

司会者

小林 秀行 (TeachMeet Tokyo実行委員 / Dare to Learn アジア代表)

内容

「TeachMeet」は、2006年にイギリスで始まった教員同士の勉強会で、現在では、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、クロアチア、チェコリパブリック、デンマーク、アイルランド、スウェーデンでも開催されています。今回、創業者のエワン・マッキントッシュ氏に相談、日本での開催に快諾頂き、初開催する運びとなりました。

ここに注目！

TeachMeetは、教員による教員同士のカジュアルな勉強会です。参加者による7分間のマイクロ・プレゼンテーションと2分間のナノ・プレゼンテーションを中心に構成され、参加者は様々な話題の発表に刺激を受け、意見交換できる場となっています。今回は、初開催にふさわしく、様々な分野で活躍される先生方にご発表いただきます。時間が許せば、当日飛び入りのナノ・プレゼンテーションも可能です。記念すべきこの第一回に、多数の方のご来場をお待ちしています。

発表者



野中 潤氏

都留文科大学 准教授

「藤井聡太四段のギモン～なぜ宿題をやらなければいけないのですか？」

子どもたちの学びの可能性がいかに広がっていて、それを学校教育がいかに台無しにしているかを、藤井君の話に触れながら語ります。



鎌中 俊充氏

元・青年海外協力隊
(派遣国:ルワンダ 職種:理科教育)

「アフリカ・ルワンダの公立中学校における2年間の支援活動の中で考えたこと」

23年前の大虐殺を経て、今や年率8%で経済成長を続けるアフリカの小さな内陸国ルワンダ。ICT立国を目指し科学技術人材育成に力を入れるルワンダの教育事情を、現場の視点からお話させていただきます。



石井 路子氏

追手門学院高校教諭
(ドラマティーチャー)

「生徒の今を考える視点のために『自画像』創作過程から」

1年生の最後の課題として、自らをモノローグ演劇作品にする『自画像』を創作します。この創作過程で、これまでどのように生きて目の前の生徒が成り立っているのかをダイレクトに知ることができます。すべてのことには理由がある。生徒を見る一つの視点についてお話しします。



川崎 知子氏

イエナラボ主宰
元江東区立北砂小学校教諭

「オランダイエナプラン教育の可能性」

子どもの幸福度世界一位のオランダで広がっているイエナプランを知ること、日本でももっと幸せな教育が出来ると思っています！

他多数予定